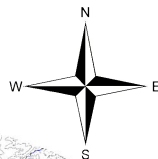


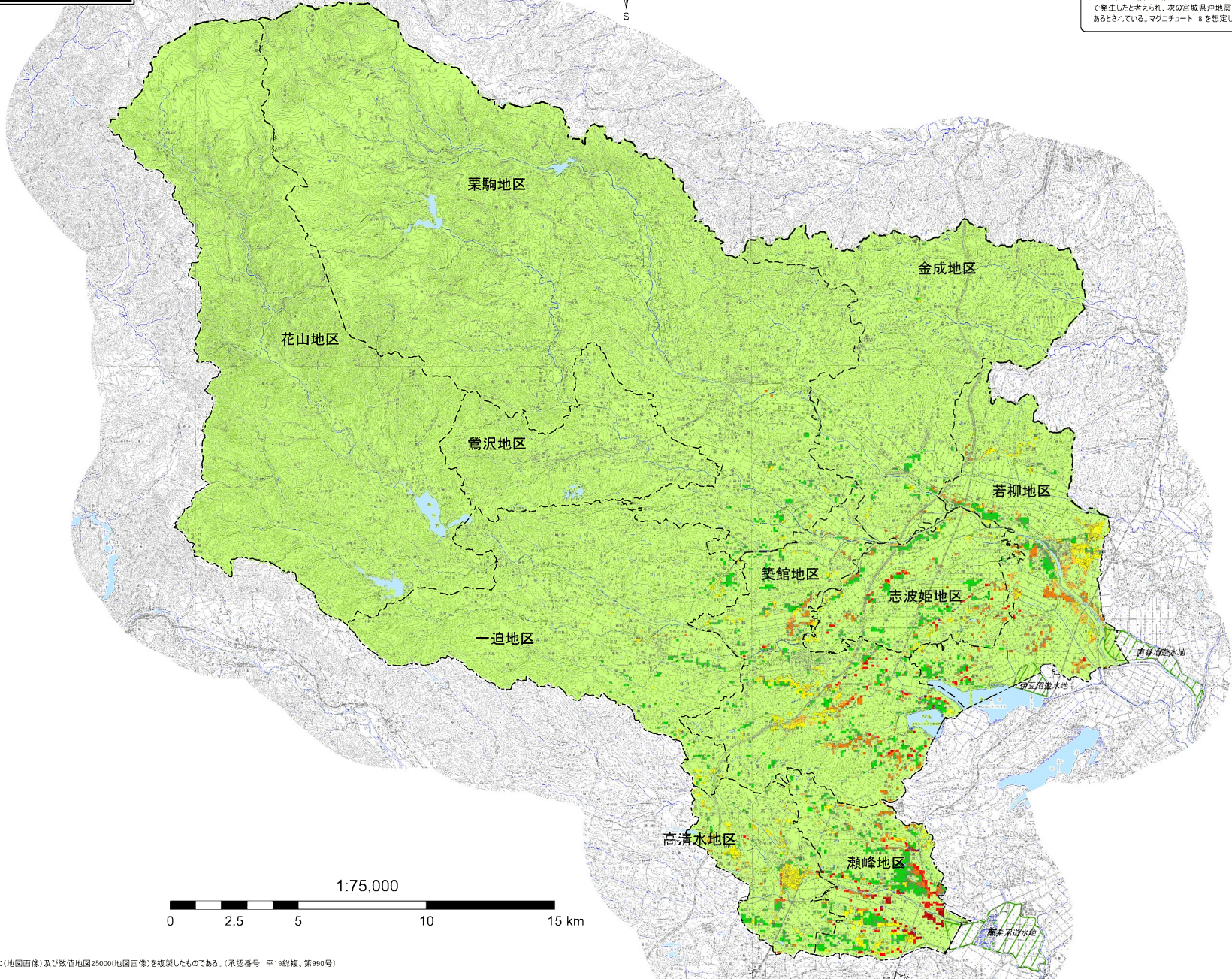
栗原市地震防災マップ

地域の危険度マップ

宮城県沖地震(連動型)の場合



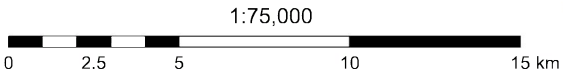
○ この地域の危険度マップは、地域が揺れやすさマップ(宮城県沖地震(連動型)において示された揺れ(震度)の揺れとなった場合に、地盤の軟弱化の影響を含めてどの程度の建物被害(全壊及び半壊相当)が生じるかを100メートルメッシュ毎に評価し、相対的に表示したものである。
○ 地震の発生仕方によっては、被害の状況がこれよりも大きくなったり、小さくなったりすることがある。
○ 宮城県沖地震(連動型)は、1793年に宮城県沖の広い範囲で発生したと考えられ、次の宮城県沖地震でも起きる可能性があると考えられている。マグニチュード 8 を想定している。



凡例

木造建築物の全半壊率

0~3%
3~5%
5~7%
7~10%
10~20%
20~30%
30%以上



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19総保 第990号)